

中原自治会<横浜市脱炭素化推進補助事業> 太陽光発電システム報告会

日時 令和8年6月20日(土) 14時～
会場 中原自治会館

次 第

1 来賓のことば

横浜市市民局 檜山明子地域支援部長

2 太陽光発電システムの概要と成果

中原自治会 金子善政会長

3 質疑応答

ご来賓のみなさま

- 横浜市市民局
檜山明子 地域支援部長
松田 悟 地域活動支援課長
- 横浜市住宅供給公社
角地永子 担当課長
- 磯子区役所
立花千恵 福祉保健センター担当部長
吉田聡子 区政推進課長

中原自治会館太陽光発電システム

1. 太陽光発電システムの導入の経緯

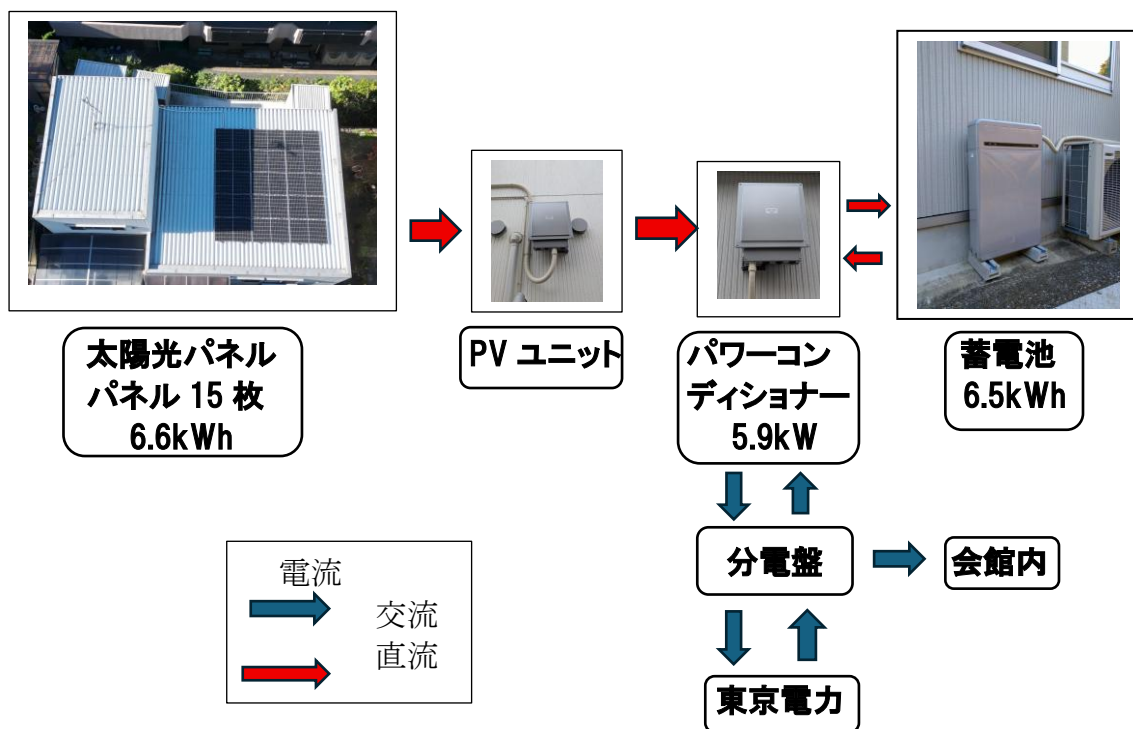
令和 6 年 2 月に横浜市から自治会町内会館脱炭素化推進事業の発表がありました。以前から非常用電源として検討してきた中原自治会では申請に向けて検討を始め、令和 6 年 4 月の中原自治会通常総会に「自治会館脱炭素化推進事業（太陽光発電設備・蓄電池導入）の申請について」の議案を提出しました。

議案は承認されたので、業者から見積書を取り、工事業者の選定へと進み、令和 6 年 10 月に横浜市から承認を受け、11 月に工事を開始し、12 月に完成しました。

令和 6 年 12 月 14 日に、太陽光発電設備完成式（通電式）を実施しました。

2. 太陽光発電システムの概要

(1) 装置の概要



(2) 太陽光発電システム経費(円)

	経費	自治会負担額	横浜市補助額
太陽光発電装置	2,475,000	825,000	1,650,000
蓄電池	1,716,000	572,000	1,144,000
計	4,191,000	1,397,000	2,794,000

* 太陽光発電装置のモニターを設置 「エコめがね」

* 施工業者 有限会社円行電設

3. 太陽光発電システムの成果

太陽光発電システムが稼働してから1年が経ちましたので、1年の成果をご報告します。

(1) 太陽光発電システムの評価と活用

太陽光発電装置の設置は、広報よこはまやタウンニュースなどで取り上げられました。また、屏風浦小学校では教材として活用していただき、中原自治会館で授業が行われました。

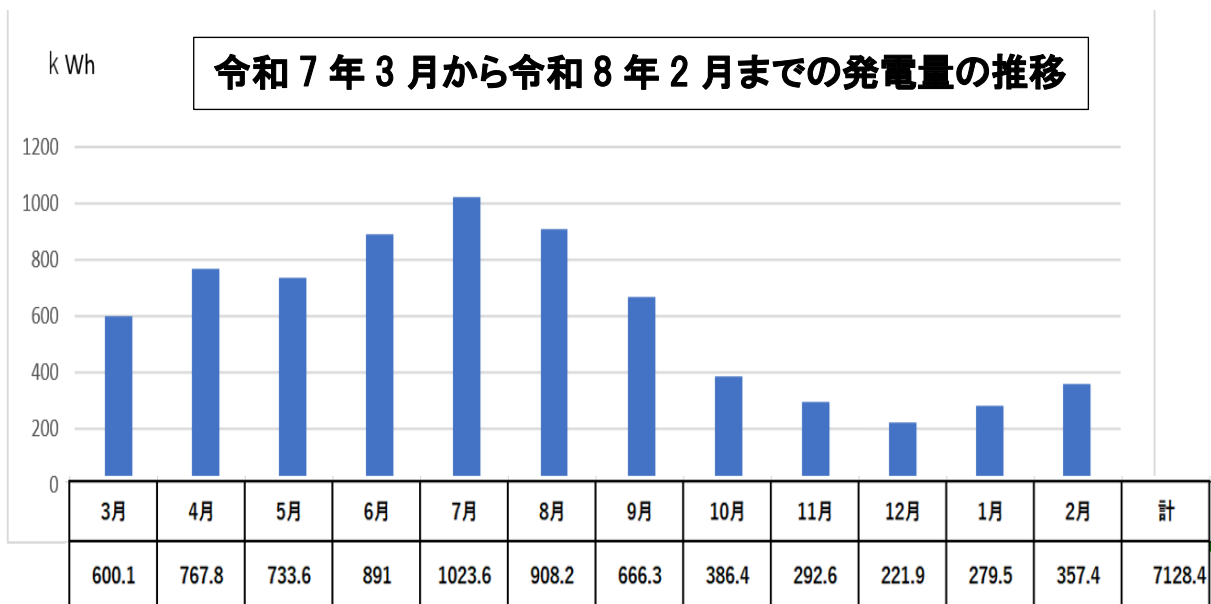
今後は設置の目的である大規模災害時の非常用電源として期待が持たれます。

(2) 1年間の発電量と脱炭素化

① 下の表は令和7年3月から令和8年2月までの月別発電量です。

1年間の発電量は、7,128.4 kWh でした。(エコめがねによる)

この発電量は、2世帯分の電気を賄う事が出来ます。



② 1日の発電量、消費量、売電量、買電量については「エコめがね」で説明します。

③ 「脱炭素」～炭素をどれだけ削減できたか～

1年間の発電量 7,128.4kWh は、石炭を使った火力発電所では 1kWh の発電につき 860～940 g の CO₂ が排出されるといわれます。したがって、平均して 0.9 kg 排出されるとすると、排出される CO₂ を 6,415 kg(6.4 トン) 削減させたことになります。

参考:2024年における温室効果ガスは、二酸化炭素に換算すると、9億9,400万トンになります。

(3) 電気代を約 10 万円以上の削減

表は、1 年間に支払った電気料金です。太陽光発電装置を設置する前の 1 年間の平均電気料金は 139,863 円でした。設置した後の買電料金が 100,549 円、売電料金が 72,142 円で、差し引き 1 年間に支払った電気料金は 28,407 円となり、設置した効果は 111,456 円の削減となりました。電気料金は年々変わりますので、単純に比較はできないとは思いますが、1 年間で約 10 万円以上の削減ができました。

令和3年～令和5年の1年間の平均電気料金と令和7年3月から1年間の買電料金・売電料金・支払い電気料金

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
R3～R5の平均	12,583	10,608	10,416	9,717	10,635	12,797	12,956	10,477	10,055	11,706	11,509	16,404	139,863
買電料金 (円)	10,896	9,816	6,515	6,358	6,209	8,138	9,985	6,705	6,654	6,740	10,224	12,309	100,549
売電料金 (円)	4,846	6,544	8,672	9,184	9,424	9,248	8,832	7,632	4,256	2,304	576	624	72,142
支払額 (円)	6,050	3,272	-2,157	-2,826	-3,215	-1,110	1,153	-927	2,398	4,436	9,648	11,685	28,407

参考：2025 年の買電料金は 1kWh で約 15 円です。

(4) 太陽光発電のデメリット

一般にいられているデメリットについて述べます。

- ① 高額な初期費用、メンテナンス費用
- ② 天候に左右される発電量
- ③ 大量の太陽光パネルの廃棄（2030 問題といわれている）
- ④ 自然破壊や景観の変化

4. 日本及び世界の温暖化対策

- 「気候変動に関する国際連合枠組条約」（1992 年）採択、1994 年発効
リオデジャネイロで地球サミットが開催される。日本も署名
- 締約国会議（1995 年から、COP と呼ぶ）
COP3(1997 年) 京都議定書・・・先進国に対する削減目標を求める。
COP21(2015 年) パリ協定・・・締約国に対しての削減を求める。
「世界の平均気温上昇を産業革命前に比べて 2℃未満に抑え、気温上昇を 1.5℃以内に抑える努力をする。」
- 日本の地球温暖化対策計画 2013 年草案、2025 年新たな目標提出
2013 年を基準として、2035 年には 60%削減、2040 年には 73%削減、
2050 年にネット・ゼロを目指す。
- APUF-9（第 9 回アジア・太平洋都市フォーラム） 2027 年に横浜で開催
アジア太平洋地域最大級の国連が開催都市と共催する国際会議で日本初開催。
持続可能な都市開発や気候変動対策等が話し合われる。2027 年 8 月 30 日～
- IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が横浜で 2 回目の開催予定
IPCC は、1988 年に世界気象機関と国連環境計画によって設立された国際組織
で、科学者の協力の下、気候変動に関する科学的知見の評価を提供する。